



平成 18 年 11 月 10 日

各位

会社名 株式会社ネプロジヤパン
代表社名 代表取締役社長 金井 孟
(JASDAQ・コード 9421)
問合せ先
役職・氏名 取締役管理本部長 額 額 崇
電話 03-6803-3970

平成 19 年 3 月期中間（連結・単独）及び通期（連結・単独）
業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 19 年 3 月期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の業績予想について、平成 18 年 5 月 15 日付当社「平成 18 年 3 月期決算短信」及び同日付「平成 18 年 3 月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期 連結業績予想の修正

(1) 中間期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	8,745	274	143
今回修正 (B)	9,532	134	43
増減額 (B-A)	787	△ 140	△ 100
増減率	9.0%	-51.2%	-70.3%

(2) 修正の理由

売上高につきましては、一部の事業が計画通りに伸展しなかったものの、移動体通信事業における新規店舗の出店により、前年同期比 787 百万円（同 9.0%）増と好調に推移する見込みであります。

経常利益につきましては、当期より導入いたしました新人事制度における賞与支給対象者及び支給対象期間の変更による費用の増加、株式公開関連費用の当初計画からの増加、I P 電話関連機器販売及び子会社における I T 教育教材の販売が計画通りに伸展しなかったこと等により、134 百万円（当初予想比：140 百万円の減少）となる見込みであります。

中間純利益につきましては、上記理由に加え本社移転関連費用の計画からの増加等もあり 43 百万円（当初予想比：100 百万円の減少）となる見込みであります。

(3) 通期 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
前回予想 (A)	18,730	751	353
今回修正 (B)	19,898	396	196
増減額 (B-A)	1,168	△ 355	△ 157
増減率	6.2%	-47.3%	-44.4%

(4) 修正の理由

売上高につきましては、前年同期比 1,168 百万円 (同 6.2%) 増と好調に推移する見込みであります。経常利益につきましては、上記中間期の状況変化があり、当初見込んでいた計画を達成するに至らず 396 百万円 (当初予想比：355 百万円の減少) となる見込みであります。

当期純利益につきましては、上記理由に加え本社移転関連費用の計画からの増加等もあり 196 百万円 (当初予想比：157 百万円の減少) となる見込みであります。

(5) ご参考：前期の実績 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
中間期 (4/1～9/30)	8,503	287	156
通期 (4/1～3/31)	18,654	651	341

2. 平成 19 年 3 月期 単独業績予想の修正

(1) 中間期 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中間純利益
前回予想 (A)	8,417	345	108
今回修正 (B)	9,196	163	44
増減額 (B-A)	779	△ 182	△ 64
増減率	9.3%	-52.7%	-59.5%

(2) 修正の理由

売上高につきましては、一部の事業が計画通りに伸展しなかったものの、移動体通信事業における新規店舗の出店により、前年同期比 779 百万円 (同 9.3%) 増と好調に推移する見込みであります。

経常利益につきましては、当期より導入いたしました新人事制度における賞与支給対象者及び支給対象期間の変更による費用の増加、株式公開関連費用の当初計画からの増加、I P 電話関連機器販売が計画通りに伸展しなかったこと等により、163 百万円 (当初予想比：182 百万円の減少) となる見込みであります。

中間純利益につきましては、上記理由に加え本社移転関連費用の計画からの増加等もあり 44 百万円 (当初予想比：64 百万円の減少) となる見込みであります。

(3) 通期 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
前回予想 (A)	18,051	794	397
今回修正 (B)	19,053	430	203
増減額 (B-A)	1,002	△ 364	△ 194
増減率	5.6%	-45.8%	-49.0%

(4) 修正の理由

売上高につきましては、前年同期比 1,002 百万円 (同 5.6%) 増と好調に推移する見込みであります。経常利益につきましては、上記中間期の状況変化があり、当初見込んでいた計画を達成するに至らず 430 百万円 (当初予想比：364 百万円の減少) となる見込みであります。

当期純利益につきましては、上記理由に加え本社移転関連費用の計画からの増加等もあり 203 百万円 (当初予想比：194 百万円の減少) となる見込みであります。

(5) ご参考：前期の実績 (平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益
中間期 (4/1～9/30)	8,236	327	129
通期 (4/1～3/31)	18,012	687	314

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により、上記予想数値とは異なる結果となる可能性がありますことをご承知おき下さい。

以上